

らくらくスマートフォン4をお使いになる前に '17.2

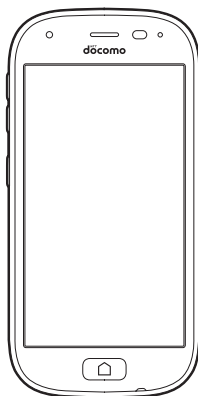
本書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

■ 本体付属品	1
■ 本端末のご利用について	2
■ 安全上のご注意(必ずお守りください)	3
■ 取り扱い上のご注意	9
■ 防水／防塵、耐衝撃性能	13
■ ドコモnanoUIMカード	16
■ microSDカード	16
■ 電池パック	17
■ 充電	18
■ 保証とアフターサービス	20
■ ソフトウェアアップデート	21
■ 携帯電話機の比吸収率(SAR)	22
■ Specific Absorption Rate(SAR) of Mobile Phones	23
■ 輸出管理規制	26
■ 知的財産権	27
■ SIMロック解除	28

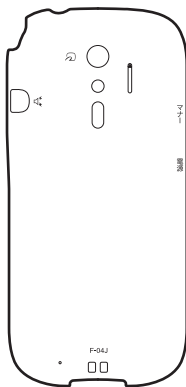
詳しい操作説明や本書の最新の内容については、本端末に搭載の「使いかたガイド」またはドコモのホームページ掲載の取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

本体付属品

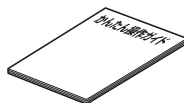
■F-04J本体（保証書付き）



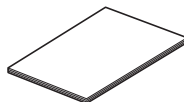
■リアカバー F89



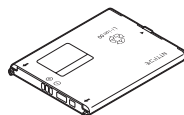
■かんたん操作ガイド



■らくらくスマートフォン4をお使いになる前に



■電池パック F35



■卓上ホルダ F46



- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はiモードのサイト（番組）への接続、iアプリなどには対応していません。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、カメラ起動中のスクリーンショット音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、BluetoothLE設定のFind Me通知音、ワンタッチプザー、エリアメールの着信音は鳴ります。
- お客様の電話番号（局内電話番号）は、ホーム画面で「自分の電話番号」をプレスしてご確認いただけます。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→p.21
- 端末の品質改善に対応したアップデートを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 本端末では、あらかじめインストールされているアプリのほか、Playストアやdメニューの「お客様サポート」からダウンロードできるアプリをご利用になれます。
- 万が一本端末を紛失した場合は、Gmail™、Google Play™などのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンからパスワード変更や無効化を行ってください。

- ・紛失に備えロック画面を設定し、端末のセキュリティを確保してください。
- ・spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ・テザリングのご利用には、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ・ご利用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ・ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）」を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生（※3）が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。
- ・次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ nanoUIMカードの取り扱い（共通）

3

本端末の取り扱い

4

電池パックの取り扱い

6

アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

7

ドコモ nanoUIMカードの取り扱い

8

医用電気機器近くでの取り扱い

8

材質一覧

8

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ nanoUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

- 

高温になる場所や熱のごもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→p.13「防水／防塵、耐衝撃性能」

- 

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→p.13「防水／防塵、耐衝撃性能」

- 

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→p.13「防水／防塵、耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→p.13「防水／防塵、耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。

- 本端末の電源を切る。

- 電池パックを本端末から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

→p.13「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えないでください。

電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。



禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者にに向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ワンタッチブザーを鳴らす場合は、耳で鳴らさないでください。
難聴などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

ワンセグアンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認の上で使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。→p.8「材質一覧」



指示

本端末の受話口、スピーカーに磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



指示

テレビ視聴時以外ではワンセグアンテナを収納してください。

ワンセグアンテナを引き出したままで通話などをすると、本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

⚠危険



禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

⚠警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようご注意ください

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意



電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。感電などの原因となります。



コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするとき、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。



本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で可能なACアダプタで充電してください。誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



電源プラグについてほこりは、拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆ドコモnanoUIMカードの取り扱い

⚠注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

けがなどの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／なし
外装ケース	フロントケース（ピンク／ブラック）	PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	フロントケース（ホワイト）	PA-GF樹脂／ウレタン系塗装
	リアケース（ピンク／ブラック）	PC+ABS-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアケース（ホワイト）	PC+ABS-GF樹脂／ウレタン系塗装
	リアカバー（ピンク／ブラック）	PC-GF樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアカバー（ホワイト）	PC-GF樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／ウレタン系塗装
ホームボタン		PC樹脂／透明UV
ワンセグアンテナ	先端部（ピンク／ブラック）	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	先端部（ホワイト）	PC+ABS樹脂／ウレタン系塗装
	パイプ部	ステンレス鋼／なし
	根元屈曲部	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	根元回転部	黄銅／ニッケルメッキ
	ケースネジ	ステンレス鋼／なし
	アンテナ固定ネジ	ステンレス鋼／テンパーカラー
赤外線ポート	パネル	PC樹脂／UV
外側カメラ（カメラパネル）	レンズ部	アクリル樹脂／なし
	レンズ部外周	PETフィルム／なし
フラッシュレンズ		PC樹脂／なし
カメラボタン（ピンク／ブラック）		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所		材質／表面処理
カメラボタン（ホワイト）		PC樹脂／ウレタン系塗装
電源ボタン、音量ボタン（ピンク／ブラック）		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源ボタン、音量ボタン（ホワイト）		PC樹脂／ウレタン系塗装
ワンタッチブザースイッチ		POM樹脂／なし
外部接続端子		ステンレス鋼／錫メッキ
外部接続端子キャップ（ピンク／ブラック）		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ（ホワイト）		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／ウレタン系塗装
充電端子		PC樹脂＋ABS樹脂／金メッキ
ネジ		ステンレス鋼／なし
電池収納面	基板	ガラエポ／ソルダーレジスト＋金メッキ
	銘板シール	PET／なし
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP樹脂／なし
	電池端子	チタン銅／金メッキ（下地Ni-Pdメッキ）
電池パック F35	本体	PC樹脂／なし
	端子部	ベリリウム銅／金メッキ
	ラベル	PET／マットニス印刷
	水濡れ反応シール	上質紙／ラミネート（PET）
卓上ホルダ F46	上下ケース	ABS樹脂／なし
	スペーサー（L・R）、フロントフック、サイドレバー、充電端子（レバー）	POM樹脂／なし
	充電端子（接点部）	りん青銅／金メッキ
	ゴム足	ポリウレタン／なし
	外部接続端子	ステンレス鋼／錫（スズ）メッキ
	ラベル（上ケース）	ポリエステルフィルム／なし
	ラベル（下ケース前、下ケース後）	アート紙／なし
ドコモnanoUIMカードトレイ		POM樹脂／なし

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-04Jは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
 - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所での使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
- 指定のオプション品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。

◆ 本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
- タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
- 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
- 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 近接センサー部をフィルムやシールなどでふさいだり、汚したりしないでください。
- 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
- 近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→かんたん操作ガイド「各部の名称と機能」

◆ 電池パックについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品のため、保証対象外です。
電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、電池パックが膨らんでいるときは電池パックの交換時期です。電池パックの交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆アダプタについてのお願い

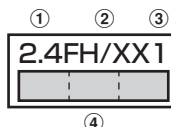
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。ようお願いします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
 - 故障の原因となります。

◆Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
- ③ 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN (WLAN) についてのお 願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

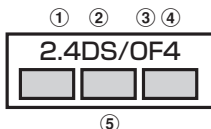
●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルおよび5GHz帯の120～128チャンネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

本端末が日本で使用できる周波数とチャンネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5,180～5,240MHz（36、38、40、42、44、46、48Ch）
- 5.3GHz帯：5,260～5,320MHz（52、54、56、58、60、62、64Ch）
- 5.6GHz帯：5,500～5,700MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140Ch）

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の銘板シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaリーダーおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-04Jは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※¹、IPX8※²の防水性能、IP6X※³の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※⁴をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※¹ IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※² F-04JにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-04Jを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）
- ※³ IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れておくはんせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※⁴ アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G w/ Change1 Method 516.7-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

防水	浸漬	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
	風雨	30分間にわたる18m/sの降雨試験
防塵		連続6時間（粉塵10±7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験
耐衝撃		高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験
耐振動		3時間（3方向各1時間）の振動試験
耐日射		連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験
防湿		連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
温度耐久	高温動作	動作環境：60℃の高温試験
	高温保管	保管環境：70℃の高温試験
	低温動作	動作環境：-20℃の低温試験
	低温保管	保管環境：-30℃の低温試験
低圧対応	低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
	低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
塩水耐久		連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験

米国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の14項目、防水（浸漬、風雨）、防塵、耐衝撃、耐振動、耐日射、防湿、温度耐久（高温動作、高温保管、低温動作、低温保管）、低圧対応（低圧保管、低圧動作）、塩水耐久に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

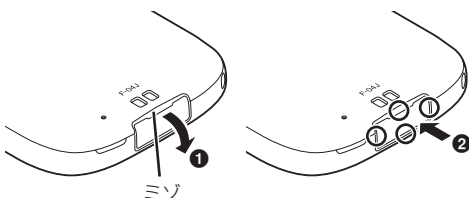
◆F-04Jが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やテレビ視聴ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗うことができます。
 - リアカバーや外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→p.13）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→p.15）で水抜きしてください。
- 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→p.15）で水抜きしてください。
 - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
 - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
 - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子を使用するときにはミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを矢印①の方向に開け、使用後は外部接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印②の方向に押し込みます。○部分をしっかりと押し、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。



- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」で説明しています。→p.17
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、背面マイクなどを尖ったものでつかなないようにください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤をつける



ブラシ／スポンジで洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダに本端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→p.13）以上の強い水流を直接当てないでください。F-04JはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。

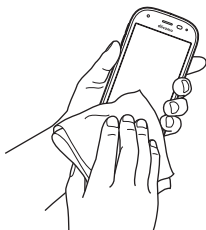
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

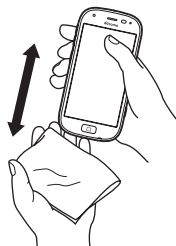
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、背面マイク、ボタン、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
 - 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

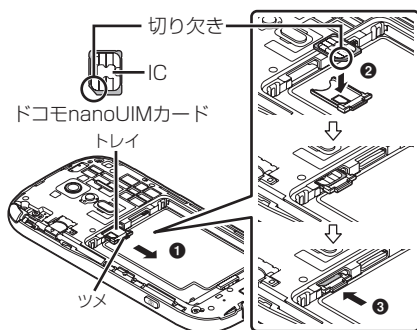
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードを使用します。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

◆ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。
→p.17

■取り付けかた

- ① トレイを引き出す ①
- ② ドコモnanoUIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる ②
- 切り欠きの方向にご注意ください。
- ③ トレイをドコモnanoUIMカードスロットへ差し込む ③

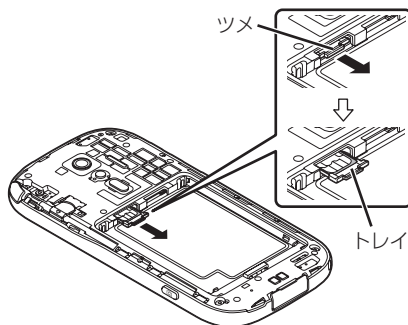


■取り外しかた

- ① トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す

- ② ドコモnanoUIMカードを軽く押さえながら、矢印の方向へ引き出してドコモnanoUIMカードを取り外す

- このときドコモnanoUIMカードを下方向に強く押し付けしないでください。



- ③ トレイをまっすぐ水平に差し込む

microSDカード

◆microSDカードについて

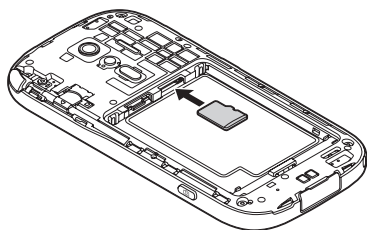
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、256GBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2017年1月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。
→p.17

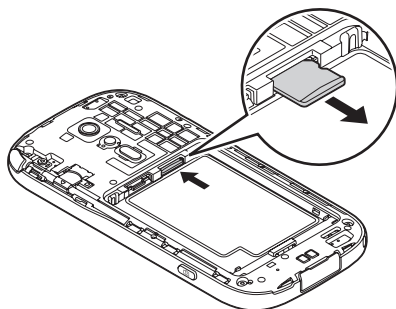
■ 取り付けかた

- ① microSDカードの金属端子面を下に向け、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む
 - microSDカードの向きにご注意ください。



■ 取り外しかた

- ① microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す



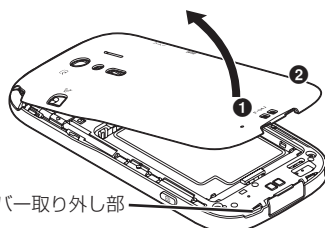
電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから（→p.15）、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F35をご利用ください。

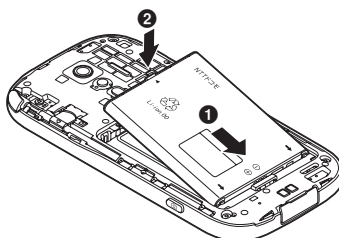
■ 取り付けかた

- ① リアカバー取り外し部に指先をかけ、リアカバー裏のツメを①、②の順番で外してから、リアカバーを矢印の方向に取り外す



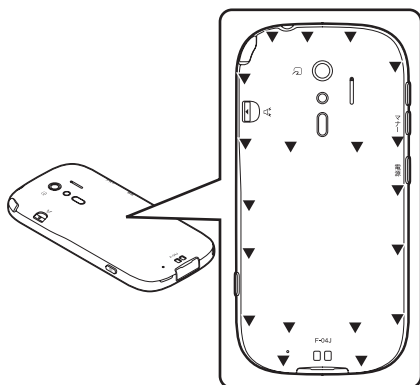
リアカバー取り外し部

- ② 電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて①の方向に差し込みながら、②の方向に取り付ける



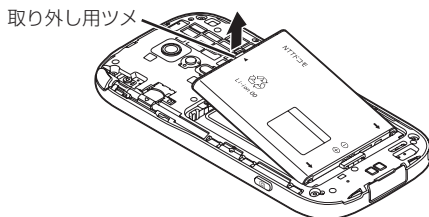
- ③ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

- ④ リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて
▼部分をしっかりと押し、完全に閉める
- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
- ※ 防水／防塵性能について→p.13



■取り外しかた

- ① リアカバー取り外し部に指先をかけてリアカバーを取り外す
- ② 電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す



- ③ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する
- ④ リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付け

充電

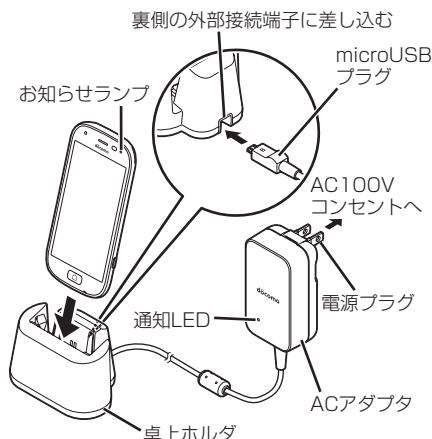
◆充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温くなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせランプが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせランプが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせランプが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から取り外すか電池パックを取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 電池パックを一度取り外し、再度取り付け直後は、電池残量が正しく表示されない場合があります。繰り返し使用することで、電池残量表示が補正されます。
- 充電しながら電池パックを取り外し再度取り付けた場合は、電池残量が正しく表示されない場合があります。
- 充電は電池パックを取り付けた状態で行ってください。

◆ 卓上ホルダを使って充電

付属の卓上ホルダ F46と別売りのACアダプタ O5を使用した場合で説明します。

- ① ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子へ水平に差し込む
- ② 本端末を卓上ホルダに差し込む
 - 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末のお知らせランプが赤色に点灯します。お知らせランプが点灯しない場合には、点灯するまで本端末を卓上ホルダに押し込んでください。
 - 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
 - 充電が完了すると本端末のお知らせランプが消灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す
 - ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いた後しばらく通知LEDが点灯することがありますが、異常ではありません。
- ⑤ 卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜く



✓お知らせ-----

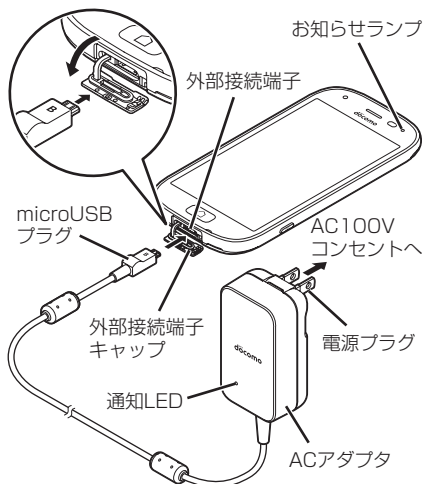
- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。

◆ ACアダプタを使って充電

別売りのACアダプタ O5を使った場合で説明します。

- ① 本端末の外部接続端子キャップを開け (→p.14)、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末のお知らせランプが赤色に点灯します。
 - 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
 - 充電が完了すると本端末のお知らせランプが消灯します。
- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
 - ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いた後しばらく通知LEDが点灯することがありますが、異常ではありません。
- ④ 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜き、本端末の外部接続端子キャップをしっかり閉じる
 - 防水／防塵性能を維持するために、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。

※ 防水／防塵性能を維持するために→p.14



◆ パソコンを使って充電

別売りのmicroUSB接続ケーブル O1などで接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

保証とアフターサービス

※保証について

- ・本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
※ リアカバー F89、電池パック F35、卓上ホルダ F46は無料修理保証の対象外となります。
- ・本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容がご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

※アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本端末に搭載されている「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申し込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- ・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- ・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合、修理できないことがあります。

- ・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ・ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■お願い

- ・本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- ・次のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができなため、故障修理をお受けできない場合がありますのでご注意ください。

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の受話口、スピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

◆ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、ネットワークに接続してアップデートが必要かを確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。アップデートが必要な場合には、ステータスバーの（ソフトウェアアップデート）やドコモのホームページにてご案内いたします。

- ソフトウェアアップデートには、以下の内容などが含まれます。本端末を安全でより快適にご利用いただくため、必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

- 機能の向上や追加
- 操作性の向上
- 品質改善
- セキュリティパッチの最新化

✓お知らせ

- アップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

❖注意事項

- アップデートを行うと、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- アップデートの際、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的に当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- Xi / FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードに通信料金は発生しません。
- パケット通信を利用したアップデートにはドコモ契約のドコモnanoUIMカードが必要です。なお、アップデートの内容によってはパケット通信を利用した場合、spモードの契約が必要になる場合があります。
- インストール中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- インストール中は、すべてのキー操作が無効となり、途中で中止することはできません。
- アップデートが完了すると再起動がかかります。
- アップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。

- ・「端末を起動するには暗証番号が必須とする」／「端末を起動するにはパスワードが必須とする」が設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、暗証番号等の入力画面が表示されます。暗証番号／パスワードを入力しないと電話やSMS、目覚ましなどの機能の通知が動作しません。
- ・アップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ・アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ・アップデートには時間がかかることがあります。
- ・以下の場合はアップデートができません。
 - 通話中
 - 圏外が表示されているとき
 - 親機としてデザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 本体メモリに必要な空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ・インストールを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- ・本端末の電池残量がフル充電の状態で行ってください。
- ・アップデート中は電源を切ったり、電池パックを外したりしないでください。
- ・ダウンロード中は電波状態のよい所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- ・アップデートが不要な場合は、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。
- ・アップデート可能期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆アプリのアップデート

- ・アップデート後、アプリのアップデートがあるかどうかをご確認ください。アプリのアップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。必ず最新バージョンへのアップデートをお願いいたします。

携帯電話機の比吸収率 (SAR)

この機種F-04Jの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部ににおけるSARの最大値は0.783W/kg^{*2}、身体に装着した場合のSARの最大値は0.426W/kg^{*3}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/e/e/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

富士通のホームページ

<http://www.fmworld.net/product/phone/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate(SAR) of Mobile Phones

This model F-04J mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^{*1} and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.783 W/kg^{*2} and when worn on the body is 0.426 W/kg^{*3}. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit. The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above.

This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network.

Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the

mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpaO2-O2.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

FUJITSU LIMITED Website:

<http://www.fmworld.net/product/phone/sar/> (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: Fujitsu
Model Name: F-04J
Hereby, Fujitsu Connected Technologies Ltd. declares that the RE product of "F-04J" is in compliance with RED 2014/53/EU.
The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
<https://www.fmwworld.net/product/phone/doc/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR^{*1} limits^{*2} for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR^{*1} value, when tested for compliance against the standard was 0.704W/kg^{*3} for HEAD and 1.271W/kg^{*3} for BODY. While there may be differences between the SAR^{*1} levels of various phones and at various positions, they all meet^{*4} the EU requirements for RF exposure.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880-915MHz	33.5dBm
	DCS1800	1710-1785MHz	30.5dBm
UMTS	FDD 1	1920-1980MHz	24.5dBm
LTE	FDD 1	1920-1980MHz	23.5dBm
	FDD 3	1710-1785MHz	23.5dBm
WLAN 2.4GHz	IEEE 802.11b	2400-2483.5MHz	13.5dBm
	IEEE 802.11g	2400-2483.5MHz	13dBm
	IEEE 802.11n	2400-2483.5MHz	13dBm
WLAN 5GHz	IEEE 802.11a	5150-5350MHz	13dBm
		5470-5725MHz	12.5dBm
	IEEE 802.11n	5150-5350MHz	13dBm
		5470-5725MHz	12.5dBm
	IEEE 802.11ac	5150-5350MHz	13dBm
		5470-5725MHz	12.5dBm
Bluetooth	Bluetooth	2400-2483.5MHz	10dBm
RFID	NFC	13.56MHz	10dBμA/m

The manufacturer of this product is Fujitsu Connected Technologies Ltd. with its registered place of business at 1-1, Kamikodanaka 4-chome, Nakahara-ku, Kawasaki, Kanagawa 211-8588, Japan. The Authorized Representative for RED is Fujitsu Services Ltd. with its registered place of business at 22 Baker Street, London, U.K, W1U3BW.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S.

Government's requirements for exposure to radio waves.

This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S.

Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to

prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.529 W/kg*, and when worn on the body, is 0.984 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID VQK-F04J).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception,

which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1: A12.



Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「iモーション」「iチャネル」「しゃべってコンシェル」「マチキャラ」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「おサイフケータイ」「公共モード」「エリアメール」「spモード」「dメニュー」「dマーケット」「d払い」「dショッピング」「フォトコレクション」「スゴ得コンテンツ」および「しゃべってコンシェル」ロゴ「エリアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「dマーケット」ロゴ「d払い」ロゴ「dショッピング」ロゴ「iコンシェル」ロゴ「フォトコレクション」ロゴ「スゴ得コンテンツ」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国、またはその他の国における登録商標または商標です。Copyright© 2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
本製品の一部に **ACCESS NetFront** Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ㊦はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。



- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Immersion Technology licensed from Immersion Corporation. Protected under one or more of the U.S. Patents found at the following address www.immersion.com/patent-marking.html and other patents pending.
- microSDロゴ、microSDHCロゴ   、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Google Play、Google Nowおよびその他のマークはGoogle, Inc.の商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。
- この機器に搭載されている「ゴシックMB101」フォントは株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「ゴシックMB101」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup、PasspointはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。 
- OBEX™は、Infrared Data Association® の商標です。
- LINEおよびLINEロゴはLINE株式会社の商標または登録商標です。
- iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved.
- その他の本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCalは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やiモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com> をご参照ください。
- 本体メモリには以下の辞書コンテンツがインストールされています。
 - 〈岩波書店〉
広辞苑 第六版 DVD-ROM版（内蔵版）（新村出編）
〈研究社〉
新英和中辞典第7版（内蔵版）（竹林滋、東信行、諏訪部仁、市川泰男編）
新和英中辞典第5版（内蔵版）（Martin Collick、David P.Dutcher、田辺宗一、金子稔編）

◆オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、次をご参照ください。
標準：ホーム画面で【本体設定】▶【その他】▶【端末情報】▶【法的情報】▶【オープンソースライセンス】
シンプル：待受画面で【メニュー】▶【設定を行う】▶【その他の設定を行う】▶【端末情報を見る】▶【法的情報を確認する】▶【オープンソースライセンス】
オープンソースライセンスに基づき富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://spf.fmwworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/>

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができま。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

**オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・
ご契約内容の確認・各種お手続きなど**

本端末から [dメニュー／検索]▶[My docomo
(お客様サポート)]

パソコンから My docomo
([https://www.nttdocomo.co.jp/
mydocomo/](https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/))

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にできない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●運転中モード

電話に出られない旨を発信者にガイダンスでお知らせします。

●振動

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード

着信音や操作音など端末から鳴る音を消すことができます。

※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクルネットワーク
環境省PHSのPRACOMにて

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収していますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
(らくらくホンセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **15777** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

(らくらく) (みんな)
 **0120-6969-37**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申し込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

(「+」は「0」をロングプレスします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600** (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



ドコモ「あんしん」ミッション

みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。



マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社



Li-ion 00



危険です、
歩きスマホ。

'17.2 (1.4 版)
CA92002-9500

